

災害発生! その時

6月から9月にかけて災害の多い季節です。

近年は線状降水帯による集中豪雨が多発し、九重町に被害を及ぼしています。

また、大規模地震発生の可能性も年々高まっており、いつ発生してもおかしくない状況です。

そこで今まさに災害が発生したときに、どのような行動すればよいか紹介します。

集中豪雨が発生したら

①大雨が発生したら

- ・大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見聞きしたら、危険な場所には近づかないようにしましょう。(山の斜面や河川・用水路など)
- ・非常用持ち出し品の準備・点検をしましょう。
- ・ハザードマップで危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。
- ・土砂災害警戒情報等にも注意しましょう。



▲九重町HP
ハザードマップ

②すみやかに避難

- ・危険を感じたときや、行政からの避難指示等があった場合は、あわてずに避難しましょう。
- ・避難の際の持ち物は最小限にして背中に背負うなど、両手が自由に使えるようにしておきましょう。

高い ↑ 危険度 ↓ 低い	警戒レベル	新たな避難情報等	主に求められる行動
	5	緊急安全確保	すでに安全な避難ができず命が危険な状況。安全確保を!
	警戒レベル4までに必ず避難!		
	4	避難指示	危険な場所から全員避難(避難勧告は廃止)
	3	高齢者等避難	避難に時間のかかる高齢者等は危険な場所から避難
	2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	自らの避難行動を確認
	1	早期注意情報(気象庁)	災害への心構えを高める



▲令和2年7月の集中豪雨の際に九重町内で発生した被害の様子

③土砂災害の前兆現象

土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、以下のような状況になっていた場合は、直ちに安全な場所に避難してください。

【土砂災害の主な前兆現象】

崖や地面にひび割れができる、崖や斜面から水が湧き出る。

井戸や川の水が濁る、湧き水が止まる、水位が下がる。

小石が落ちてくる、地鳴り・山鳴りがする、立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

地震発生！その時どうする？

①まず身の安全

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受信した時は、身の安全を最優先に行動しましょう。
- ・丈夫なテーブルや机の下、物が落下・転倒してこない空間に身を寄せ、揺れが収まるまで様子を見ましょう。
- ・屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らないようにしましょう。

②落ちついて行動

- ・転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意しましょう。
- ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さないようにしましょう。
- ・揺れが収まった時に、窓や戸を開け避難ができるよう出口を確保してください。
- ・火を使っている時は、揺れが収まってから火の始末をする。もし出火した時は、落ちついて消火しましょう。

③すみやかに避難

- ・避難する時は通電火災やガス漏れを防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めましょう。
- ・火災の危険が迫り、身の危険を感じたら声を掛け合い、一時集合場所や避難場所に避難しましょう。
- ・沿岸部や川沿いでは、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたりしたら、高台などの安全な場所に素早く避難しましょう。



▲平成28年熊本地震の際に九重町内で発生した崖崩れ

九重町LINE公式アカウントへの登録をお願いします！

LINE公式アカウントでは、町のイベント情報の他災害時には避難所の情報や道路情報等を発信しています。更に災害時にはリッチメニューにて気象情報やハザードマップ等をご確認いただけます。

登録方法

- ①LINEアプリを起動し、「ホーム」を開く
- ②画面右上の  をタップ（押す）する
- ③  二次元コードを読み取る

二次元コード

または

 ID検索に

検索 **@kokonoe_town** を入力



▲九重町 LINE
公式アカウント



▲九重町HP
公式アカウント案内

